

杉浦 謙一 議員

市立病院について

問 病院の経営について、病院院長に答弁を求めます。病院再生のためにどのような政策を講じてきましたか、また経営者として、御前崎総合病院が地方病院として、どのような病院になつていくのが良いのかお聞かせください

答 初めに、病院の立て直しの打開策についてあります。が、第一に、現在派遣を受けている浜松医大、横浜医大、自治医大などの医局の教授と友好関係を保ち、現在の常勤医師数を減少させない、出来れば増やす方向に努力することから考えられる正当な手段を駆使して広く医師を募集することであると思います。医師の獲得を容易にする為に科医

長、部長などのポジションを用意するとともに、非常勤医師給与のレベルアップも行いました。さらには、自治医大卒業生の県人会や勉強会などに毎回出席し、卒業生の勧誘も積極的に行っております。看護師不足対策としては、院内保育所の再建や奨学金制度の復活などが必要であると考えております。将来、職業決定の為のモチベーションとなるように若い人達の病院見学実習、ボランティア活動などを積極的に推進しております。

病院の将来についてであります。が、先の市長の答弁にもありました。が、地元の開業医、さらには近隣市町村の病院との連携も視野に入れながら、市民に信頼され、愛される病院となるよう努力して参ります。

案内標示板について

問 御前崎地区は、至る所に案内標識があるが、浜岡地区は分かりにくいとの声を聞く。市外から来た人達にも、名所、旧跡へ気軽に立ち寄ってもらえる標示板を設置する考えは

答 市の木、市の花については、観光施設や街路整備などを展開する中で、市のシンボルとして、積極的に活用したいと考えている。



岩瀬 初代 議員

問 市の木、市の花を広く内外に知つてもらう為に街路樹や自然を生かした名所にするつもりは

答 市の木、市の花については、観光施設や街路整備などを展開する中で、市のシンボルとして、積極的に活用したいと考えている。